

平成28年度全国学力・学習状況調査 結果・分析と今後の指導について

帯広市立広野小学校

本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面であると考えます。また、本校においては、調査を受けた児童が4名という極めて少ない人数ですので、結果をそのまま学校全体の傾向として捉えることは難しいと考えております。

なお、以下の分析については、9月8日に広野小学校全職員で行った「全国学力・学習状況調査分析会議」の結果をまとめたものとなっております。

1 国語

(1) 国語 A の結果と分析

全国・全道の正答率に対して低い正答率となっており、「目的や意図に応じた話し合い」（話すこと・聞くこと）や「書き手の表現の仕方」「目的や意図に応じた書く事柄の整理」（書くこと）の理解が十分ではない。また、漢字の読み書きはほぼできていたものの、ローマ字の表記には課題が見られた。

(2) 国語 B の結果と分析

全国・全道の正答率を上回り、特に「読むこと」では全国を上回っている。しかし、B問題においても「話すこと・聞くこと」の正答率は低く、「話し手の意図を捉えながら聞き、展開に応じて質問する」ことができなかった。また、「書くこと」では、「グラフや表をもとに自分の考えを書く」問題に対する正答率が低い。記述式の問題に対する正答率は高くはないが、無回答はいなかった。

(3) 今後の指導

- ・長い文章のなかから、必要な情報を見つける力がまだ十分育っていない傾向が見られる。複数の情報から必要な情報を取捨選択し、整理する力を付けていく。
- ・語彙力をつけていくとともに、実際の学習場面のなかで「前の人の話を受けて話し合いを続ける練習」を設定していく。
- ・文章の校正（推敲）の学習の中で、二つ以上の文章を比べて、「かわったところ」「よくなったところ」に気付かせたり、推敲の意図に考えさせたりする学習を充実させる。
- ・メモと本文など、二つ以上の文章を比べて読む力や、メモをもとに書く力を育てていく。
- ・「〇〇を使って、～字で書く」のように、条件に応じて書く活動を、普段の授業の中で意識的に取り入れていく。
- ・回答類型を見ると、実際の話合いの中で、よく指導されること（ちがう点を見つけて、関係するところを見つけて）などを、本文に関係なく正答として選んでいることがわかる。正答のように「関係づけて選ぶ」という体験も授業に取り入れていく。
- ・教師が仕組み、意図的にいろいろな観点から話し合ったり議論したりする言語活動も充実させていく。

2 算数

(1) 算数 A の結果と分析

全国・全道の正答率に対して高い正答率で、特に数量関係の分野では全国の前年を上回っている。また、基礎的な四則計算にも定着が感じられる。課題となる領域は図形で、全国平均を大きく下回っている。

(2) 算数 B の結果と分析

全国・全道の正答率に対して高い正答率となっているが、全国的に正答率が低い問題は、本校でもできていない。基礎基本の定着がみられているが、多くの問題で正答率が低く、活用する力は大きな課題が残る結果になったと言える。

(3) 今後の指導

- ・授業では等分除を扱うことが多かったが、包含除の指導も充実させていく。
- ・図形では低学年で具体物を多く経験させる必要があるのではないかと。また、補助線を引くことで図形の組み合わせがわかりやすくなることを体験させたり、方眼用紙を使って作図したりするような算数的活動を意識的に授業に取り入れていく。
- ・たくさんの情報から式に必要な情報を選ぶことができなかった。問題文から、「何を求めるのか」「そのためにどの情報が必要なのか」を選び、全体で確認するような学習を工夫していく。
- ・「わる数」「わられる数」のような数学的な用語に、低学年から親しませる。
- ・計算はできて立式ができない子がいる。式の意味がわからなければ、活用することはできない。たてた式が正しいか考えるとき、式の数値に単位をつけてみる方法があることなど教え、式の意味のあるものにしていく。
- ・自ら考える力が身につくように指導を工夫していく。
- ・単位あたり量のように、時間がたつと忘れてしまう単元は繰り返し指導していく。
- ・基礎的・基本的な知識・技能は身に付きつつある。今後も朝学習や学びチャレンジ週間等を活用し、前学年にまでさかのぼって繰り返し復習を続けていく。
- ・算数がどのように日常生活に結びついているのかといった視点も大切に、算数的に考えるよさを実感させていく指導をしていく。

3 児童質問紙

(1) 100%回答だった項目

- 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。
- 家で学校の宿題をしている。
- 学校に行くのは楽しいと思う。
- 学校で、友達と会うのは楽しいと思う。
- 学校で、好きな授業がある。
- 学級会などの時間に友だち同士で話し合ってきたりなどを決めている。
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。
- 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。

- 今住んでいる地域の行事に参加している。
- 友達との約束を守っている。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている。
- 「総合的な学習の時間」の勉強が好き。
- 「総合的な学習の時間」ので学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思う。
- 5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う。
- 5年生までに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思う。
- 5年生までに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思う。

(2) 課題がみられる項目

- 難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している。
- 自分にはよいところはあると思う。
- 平日の就寝時刻。
- 家で学校の予習をしている。
- 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- 5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思う。
- 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思う。
- 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。
- 国語Bの調査問題の時間は十分だった。

(3) 今後の指導

- ★早寝・早起き・朝ごはんなど、家庭での生活リズムについて家庭と連携して指導を充実していく。
- ★総合的な学習の時間に限らず、日常の学習においても情報を集めたり調べたり、発表したりする力を育てていく。
- ★板書と整合性を持たせたり、自分の考えを残したりするなど、ノート指導の改善を図っていく。